

# 明治大学文学部 2026 年度 2 年次編入学試験 地理学専攻 解答例

---

## I 日本のコメ政策

### 解答のポイント

- ・食糧管理制度、減反政策、米政策改革などの流れを整理する。
- ・時代ごとの政策目的の変化に触れる。
- ・農業構造や需要の変化との関係を説明する。

### 解答作成にあたって

日本の農業政策がどのような背景のもとで変化してきたのかを整理し、各時代の政策目的や課題に触れながら説明する。

## II 都市経営の変化

### 解答のポイント

- ・管理者主義と企業家主義の違いを説明する。
- ・再開発や都市間競争の事例を挙げる。
- ・都市空間や土地利用の変化に着目する。

### 解答作成にあたって

管理者主義と企業家主義の違いを踏まえ、都市空間や土地利用がどのように変化したのかを具体例とともに述べる。

## III コロラド川

1) アイダホ州

2) コロラド川は、上流から多数のダムと用水路によって水が貯留・取水され、農業用灌漑や都市用水として大量に利用されている。その結果、メキシコ国境付近のモレロスダムなどで残りの水がほぼ使い切れ、下流域では川が干上がった状態になることが多

い。さらに、近年の乾燥化や流量減少も重なり、自然状態ではカリフォルニア湾まで連続して流れることが稀になっている。

### 解答のポイント

- ・ 1) 正しい州を選択する。
- ・ 2) 農業用水・都市用水の大量利用やダム開発に着目する。
- ・ 流域の水利用と環境問題の関係を説明する。

### 解答作成にあたって

コロラド川流域の水利用の実態と、その結果として生じている環境問題との関係を理解して説明する。

## IV オーバーツーリズム

### 解答のポイント

- ・ 観光客増加による土地利用の変化を説明する。
- ・ 住宅の観光利用や地価上昇などに触れる。
- ・ 規制や用途制限などの対策を説明する。

### 解答作成にあたって

観光客の増加によって生じる土地利用上の問題と、それに対して自治体が発行している対策を具体的に示す。

## V 森林利用の変遷

### 解答のポイント

- ・ 近世以降の森林利用の変化を整理する。
- ・ 人口増加、資源利用、エネルギー利用の変化に触れる。
- ・ 生活様式や林業の変化との関係を説明する。

### 解答作成にあたって

人口や生活様式の変化と森林利用との関係に着目しながら、日本の森林利用の変遷を整理する。

## VI プレート

### ① 北アメリカプレート

② フィリピン海プレート

③ 太平洋プレート

### 解答のポイント

- ・ 日本列島周辺のプレート配置を理解する。
- ・ 明治大学周辺の地下構造を踏まえる。
- ・ 地表に近い順に列挙する。

### 解答作成にあたって

日本列島周辺のプレート構造を理解したうえで、プレートの位置関係を順序立てて整理する。